

なきごえ



1969

8

大 阪 市
天王寺動物園協会

ラリちゃんの食中毒

ゴリラのラリちゃんが7月11日の梅雨も終りと云う頃に急にお腹が痛い訴え食事も全くとらなくなり下痢が続きました。このようなときにはゴリラは手枕をしてごろりと横になることが多くなります。

排便の中には大量の焼虫が出ていましたので、この駆虫薬を与えると共に、漢方薬の「げんのしょうこ」を飲ませて経過を見ましたが一向に良くなりならず、下痢は一段と強くなります。これは普通の下痢ではなさそうですので早速市立衛生研究所の来住先生に便の検査を依頼しました。

ゴリラのお腹痛のときは先にも書きましたが、手枕をしてゴロリと横になり、日頃の腕白小僧もお腹がゴロゴロ鳴って痛いのと、不安な気持ちでしんみょうにお母さんの顔色を伺っている人間の子供の風景に似ています。ひどくお腹の痛むときはお腹を両手でかかえるようにして、うつぶせになります。今回はそこ迄は行きませんでした。しかし、食べ物も全くとらないので心配しました。

しかし、衛生研究所からは一兩日してその結果が速報されてきました。ラリちゃんの病気の原因が完全な食中毒菌によるものであることがわかれば治療は簡単です。早速抗生物質を夜中もつききりで6時間おきに与えました。投薬2日目の便を検査に送りましたが既に菌は完全に消え下痢も止り、お腹の痛みもなくなったので早速遊びだすようになりました。

このような経過でラリちゃんの病気は治りましたが、扱ってなぜにこのようなものがラリちゃんのお腹に侵入したかその経路について調べておいて今後の飼育の参考にすることが必要です。

来住博士の話ではこの菌は昭和41年頃に大阪に現れ、その後急速に増加しているようで専門的にはサルモネラE群のクレフェルトと呼ばれるものです。万博を控えて、同研究所の調査によると、

この菌は肉の上に付くと非常によく増殖することでしたので、動物園に入荷する肉に付いての調査が早速行われましたが幸い総て陰性でした。ですから肉を調理したあとゴリラの餌を調理したので起きたのではないかと云う、私達の推測は成立しませんでした。又、そうであれば他のチンパンジーやオランウータンの仲間にも同様な下痢が起っているはずですが。

このように考えると、どうやらお客様が投げ与えたものをこのラリちゃんのみが失敬したということになりそうです。

皆様方が動物園に来られて、動物に餌をやったその動作を観察したいと云うお気持は分かりますが、動物によってはこのラリちゃんのようなことも起るのでよく掲示板の注意書きを読んで、規則を守ってもらいたいと思います。

餌をやってよいところ
山羊、鹿、アシカなど餌が備えてあります。
どうか2代目のラリちゃんを作らないようにご協力をお願いします。

(松岡 恵爾)

表紙の写真説明

「インドニシキヘビ」
暑い夏が大好きで、6月から9月頃まではほとんどえさを食べている。
怖いものみたさという大変人気のある動物の1つです。長さ4.5m、太いところで直径20cm。

なきごえ8月号もくじ

ラリちゃんの食中毒..... 2
動物園の見方見せ方(5)..... 3
動物園グラフ..... 4.5
動物たちの身にもなって!!(1)..... 6
動物園ニュース..... 7

△カバを見ていると見れば見るほどおかしくなる。でっかい不細工な出来損いでそれは滑稽で怪奇でさえある。ブタなら人為的にインシンから家畜化したものだから実物が漫画になっていてもうなずける。ところが大自然の産物であるカバがどうしてこんなおもしろい形になったのか興味ある問題である。しかしこの謎は案外簡単に解けるようだ。

カバは日中、水中生活をしていて夜間上陸するという。現在両生生活をしているが大昔は陸上生活をしてたもので途中から水中生活をするようになり進化の方向目的が変更されて再適応したもので未だ完全に水中生活者になりきっていない。未完成なものだから醜い動物でしかないと生物学者は説明する。およそ醜いとは美しい反対でカバは草原のキリンや水中のアシカに比べて特殊化していない中途半端な中間形で両者とも程遠い外形をしているというのである。

△動物を見る人は第一に美しいものに魅きつけられる。このへんで美しい動物について考えてみたい。美しい動物とは鳥類に限らず色彩、形態、運動、鳴声についても当然あてはまる。あらゆる動物はその生活にふさわしい生態形をしていてカバでも水面に顔を出している時は正に河馬で辛じて生態美を見出すことができる。

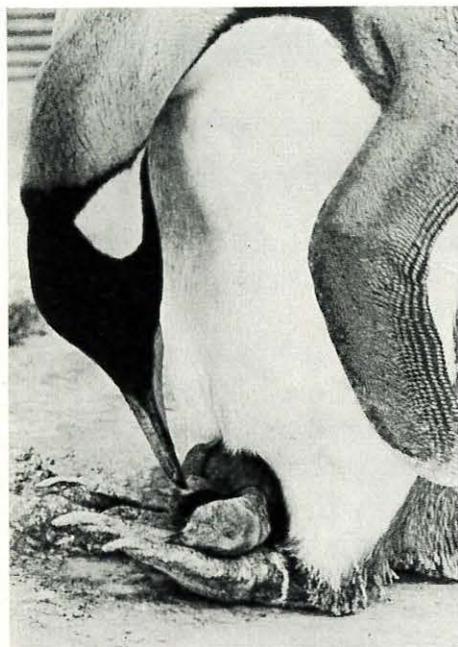
△生きるためにより能率的であるものは美しいと私は考えている。それは動物美学の原理で恐竜や原獣類等絶滅した化石動物は進化におくれた脱落者で未完成の試作品であったから醜悪なものが多い。私たち人間そのものも過去に遡るにしたがってグロテスクな原人になる。あらゆる動物が生命の歴史を通じてより美しく進化して現在に到達したもので、それぞれすばらしい独特の魅力を持っている。空を飛ぶ鳥、水中を泳ぐ魚、草原を走るカモシカを見ても彼等自身が雄弁に物語っている。できるだけ無駄がなく、より能率的にスピード化されたものほどスマートで美しい。それは丁度汽車や電車、自動車や飛行機の発達過程と全く同様で発明当時のものと比較してみればよく解

る。機械文明の進歩と生物の進化が共に合理的経済原則に支配されて美的進化の発展途上にあり今後ともより美しく進化して行くものである。より美しくなりたいと思ひより美しい作品に憧れるのは自然のなりゆきで人類の歴史に芸術が生れてきた。

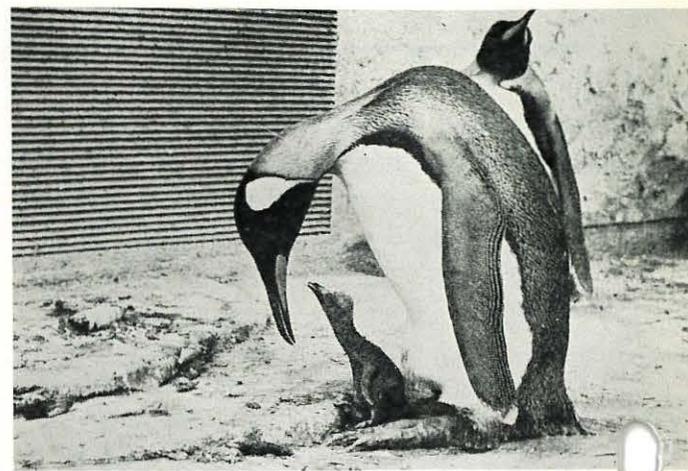
△ところで人間以外の動物に美的感覚があるものか生物学的に考えてみたい。雌雄間に発生する魅力の中で臭覚や触覚的なものから視覚、聴覚に刺激されるものが明らかにあり、それらが快的なものと不快なものに分れる。より快的なものは生理的にも有利な興奮を生じ、不快な匂いや色や形や動きや音は神経が疲労して生理的にも有害にはたらく。従ってそういうものから遠ざかり、好ましいもの美的感覚、快感に魅きつけられるのが当然だと考えたら動物にも人間と共通な美的進化があるといえる。具体的にモトモト(南米)やボアバード(オーストラリア)の如き装飾的な習性を示すものがあり私は動物の美的進化を信じている。△人間が造り出した芸術作品だけがもてはやされ又人体だけが美しい物と感違ひしてはいけない。動物達は化粧せず生れながらの裸体美で健康で真剣で迫力があり、いつも無邪気で偽りのない純真な愛情を持ち合わせている。誠にうるさい人間関係から一步動物園へ入ると私たちはアダムとイブにかえり神々の作品に直面することができる。美術館や博物館の陳列に比べて優るとも劣らぬ美的鑑賞に値する。動物園は生きている自然の美術館でもある。

△動物園でよく写生大会をするが動物を唯見るだけでなくよく見てその特性を見極めるほどより美しくなる。部分がよく解り美術と生物の勉強に役立つ。写生している中にだんだんその動物が好きになり動物を愛する道にも通じて結構な催しである。

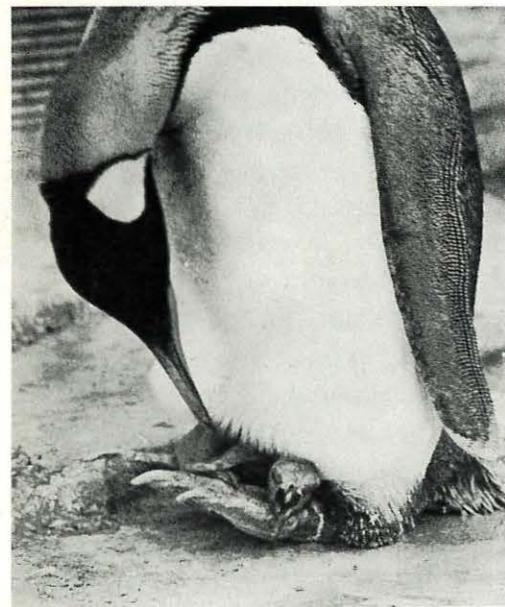
寝屋川市池田
吉田平七郎
筆者……おもちゃの動物園長



←足のベットですやすやねむる。



↑お母さんと何のお話。



←“アアア”目がさめちゃったよ。

お父さんペンギンもそばによりそって。→



動物園グラフ

“キングペンギンのひな誕生”

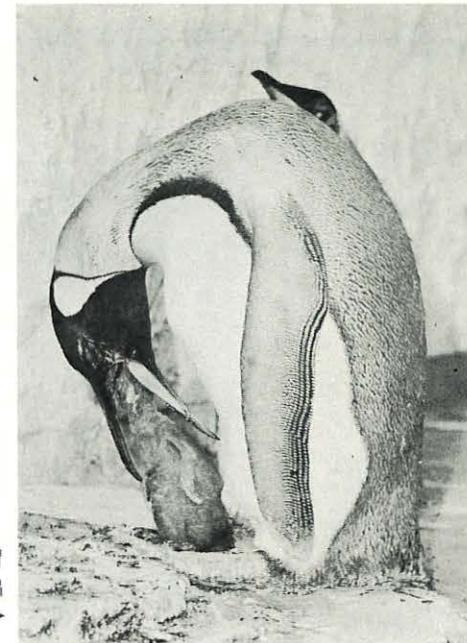
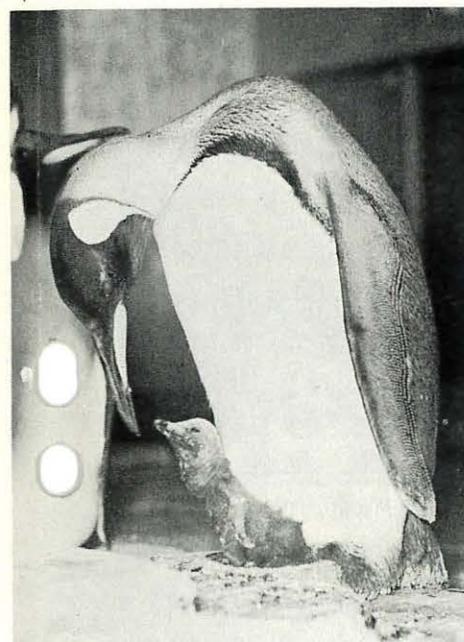
5月20日に産卵して、卵をあたためていたキングペンギンは56日目の7月14日ついにふ化に成功しました。

去年はおいしいところで失敗しているだけによろこびもひとしおです。キングペンギンのふ化は、長崎水族館について2番目のふ化でたいへんめずらしいことです。

(写真はいつでもふ化後10日目)

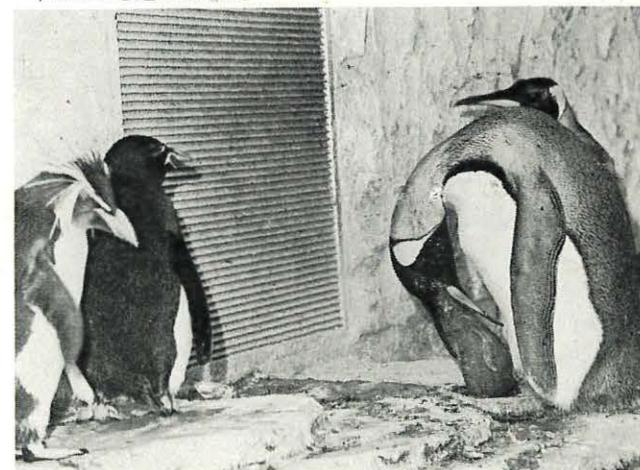


お腹がすいたようと餌のおねだり。うぶ毛がうっすりはえている。



口うつしでえさをもらう。お母さんペンギンが魚を胃の中で消化してからはき出して与えている。→

マカロニペンギンやロックホッパーペンギンもめずらしいそう↓にのぞき込んでいる。



7月動物園日記

- 4日 オランウータンが下痢をして弱っていますので、加療しています。
- 5日 サイ、キリンも下痢をしている。動物たちも長雨と梅雨冷えにはいささかグロッキー気味である。
- 8日 オオゾルが産卵しました。人工ふ化のため電気ふ卵器に入れてふ化させることにしました。

- 9日 トラが交尾をしていますのでうまくいくと、11月の下旬に赤ちゃんがうまれる予定です。
- 10日 くろかもしかが難産のため死にました。
- 11日 ゴリラのめすが食欲不振となり治療しています。
- 12日 ミドリザルが急死しました。
- 13日 にほんしかの赤ちゃんが1頭生まれました。
- 14日 キングペンギンがふ化しました。
- 16日 爬虫類館建設予定地にある水禽舎の撤去工事ははじまり

- ますので、この中にいた鳥たちをそれぞれ移動させました。
- 17日 アシカ池の改修工事がすんだのでこの日からアシカをプールにはなしました。オリックスが死産しました。
- 19日 病気中のゴリラは回復にむかっています。
- 21日 ハナシカが2頭うまれました。
- 22日 カッと照りつける日ざしのためか、キリンのめすが軽い

- 日射病にかかり、大急ぎで散水したり、涼しい屋内に入れたりしてやりました。
- 23日 カンムリヅルがあわてて金網に激突し左翼を骨折してしまいました。
- 25日 キングペンギンの2卵目はおしく無精卵でした。暑さに強いキノポリカンガルーもこのところむし暑さにグロッキー気味です。

動物たちの身にもなって!! (1)

私たちはその日の動物の健康状態と飼育管理の状況を知るために、一日に何回となく園内を巡回しているが、こんなとき、入園者のマナーについて必然的に注意を払うようになる。入園者の中にはずいぶんひどい人もいる。いったい動物園に何をしに入ったのか、いたずらをするためのみに入園したのかと思われる人がいかに多いことか。

動物園の使命はいろいろあると思う。レクリエーションの場、憩の場、レジャーの場という人もあろう。しかし、本来は子供たちの教育の場であると思う。サーカスの小屋や、縁日の屋台をのぞくような気持で動物園に入ってもらいたくない。例えば、私がカバ舎の前に立っているとよく耳にすることばは「バカ」、「バカ」という言葉や、「これを食べたらいまいぞ」、「何人分くらいのステーキになるかなあー」とかである。カバは鼻の穴と目を水面にだしてプールにもぐっていることが多いので、カバの全身をみたいと思っている気の短い客はしびれをきらしてしまう。カバは習性上夜に活発に動く動物であることを知らないで、腹をたてて石ころをわざわざ捜してきて投げ込み起しにかかるしまつになる。あるとき、目だけを出していたカバに、石ころが命中してはれあがり、あやうく失明するところであった。

サイは、ふだん大変おとなしくって人なつこい性格なので、私のすきな動物の1つである。サイは、現地でも数が減って嚴重に保護されている。それで、サイは大変貴重で高価な動物である。天王寺動物園ではサイで再々泣かされてきた。病気でたおれるサイが続いて出たりして、健康な夫婦

がそろふこともなかった。今のサイは昭和38年に入った夫婦でこのときも興奮しためすの角がおれるという事故があって苦心して飼育してきた。このごろでこそようやく交尾するまでになり、ベビーの誕生が期待できるようになってきた。

こんなに苦心して飼育しているサイにも入園者の悪口が投げかけられ、いたずらもたえない。クサイ、クサイと鼻をつまむ。サイだって糞もすれば小便もする。身体が大きいので量はウンと多い。しかし、サイはためクソとって、一定の場所にする習性をもっている。いつも運動場の一角にきちんと盛り上げている。したあとは、ネコのように後肢で砂をかけるようにするところがいじらしい。飼育係も一生懸命清掃しているが、ニオイはいかんせんぬげきれない。まあ、これがサイのフンのにおいかとみやげ話にしてほしい。

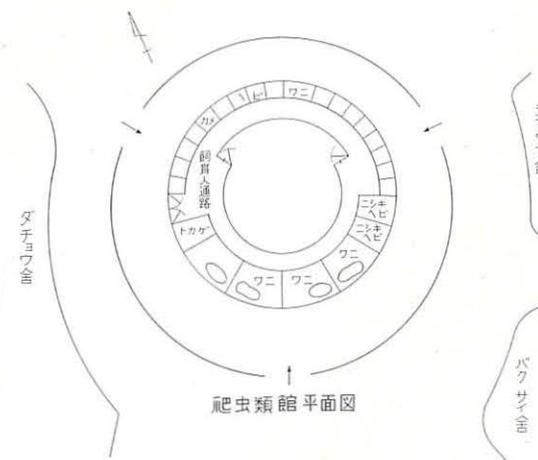
サイは運動場せましと走り回ったり、ガツン、ガツンと音をたてながらするどい角つきをする。かと思うと2匹ならんで、木陰でゆっくり昼寝する。たまたま、昼寝のときサイの前に立った客は、サイが寝そべったまま動かないのにしびれをきらして石を投げつけて起したりする。私は何回となく見つけて止めさせた。見すごされている数をいれるとおそろしくなり、こんな目にあっているサイがいたましく思われる。

サイだってゆっくり昼寝をしたかろう。昼寝をしているサイを見て帰ってもいいではないか。また次に来たときにはゆったりと歩いているかもしれないし、角つきをしているかもしれないのである。いたずらに石をなげてサイが興奮したところを見ても何ら動物の観察にはならない。

(つづく)

(樽本 勲)

★爬虫類館が着工されます。

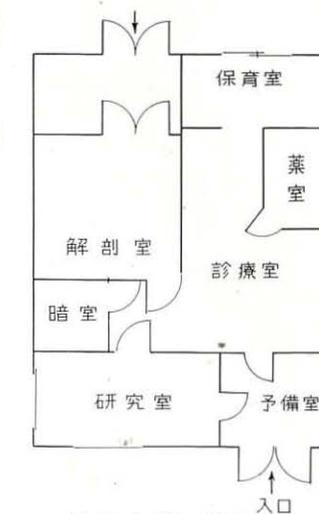


北園の第1水禽舎跡に爬虫類館を建設する工事が近くはじまります。

円形の平屋建てで広さは約170㎡です。この中にはワニ、ニシキヘビ、アナコンダ、ボア、ゾウガメなどの大型の爬虫類をはじめ小さいヘビやカメ、両棲類なども入れて、みなさんに見ていただく予定です。

爬虫類は怪獣ブームとかで、子供にも大人にも大変人気のある動物で、開館がまたれる。

★新しい動物病院が着工されました。



動物病院略図

古いサイ舎の内部を改造して新しく動物病院を作る工事が行なわれています。これまでは、木造の古く狭い建物で、病院の役目が充分発揮できなかった。これで、面目を一新して動物の健康管理に大いに役立つことでしょう。

★新しいパンフレットができました。



学校の生徒さんがたの団体入園などに利用していたために、このほど写真のようなパンフレットを発行しました。表紙は自慢のトラの親子の写真で、案内図はカラーで見やすくしてあります。

★残暑お見舞申し上げます。



まだまだ暑さが続いています。皆様はいかがお過ごしでしょうか。私はもちろん寒い冬よりは暑い夏のほうが好きですが、日本の夏はこたえます。全身が黒いし、毛が密生しているのよけいに暑いのです。夏の間はいつも飼育係の大野さんがホースで水浴びさせてくれています。私は水浴びが大好きですが、めすのリラちゃんは少し嫌がります。もうすぐ涼しい秋がやってきます。そうしたら皆さんもどうぞ動物園においで下さい。

(ゴリラのゴロより)

動物園協会だより

天王寺動物園協会は現在、正会員、賛助会員、特別会員の社団法人組織で運営されていますが動物園の発展に寄与するためにせいぜい多くの方々が会員となって下さいますようお願いいたします。

なきごえ 昭和44年8月15日発行（毎月1回15日発行）第5巻第7号（通巻49号）

編集人 / 加藤寿雄 発行所 / 社団法人大阪市天王寺動物園協会

大阪市天王寺区玉水町2

電話 大阪 771-0201

印刷所 / 株式会社 松村善進堂

定価 40円

